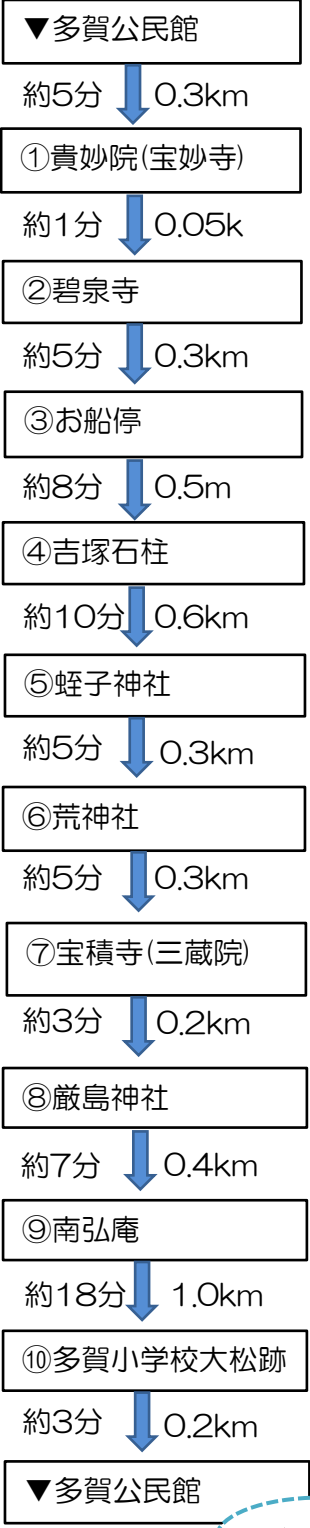


多賀地区史跡めぐりウォーキングマップ



スタート!



ゴール!

※トイレ利用
多賀公民館にあり。



☆歩行時間：約1時間10分
☆歩行距離：約4.2km
☆エネルギー消費量：約258kcal
体重60kgの人のやや早い歩行速度の場合

②碧泉寺



もとは福王院の末寺で真言宗でした。永承年中、源頼義が北条親経と謀りこの寺を創設、満遊寺と号して薬師如来を安置しました。

③お船停



藩政時代から崩口川の鶴岡橋下流小学校の裏手に「お船停」という人工の湾がありました。小松藩所有船の定繫場であった。南海大地震・台風が相次ぎ、「お船停」の湾入口も封鎖され、港の機能が終了しました。



⑥荒神社



三津屋新地通り中ほどに道の交叉する西側に石の台座宮形があります。木製の鳥居もしつらえています。勧請年ともに不明です。大火を鎮めるために勧請されました。



⑧巖島神社



悪疫流行の時に退散を祈り、延暦23年6月15日に安芸の国巖島神社から勧請奉祀したと伝えられています。弁財天から、後に巖島神社に改称。神社周囲に湧水があり、子どもたちが泳いでいました。



⑨南弘庵



弘法大師を本尊とする小堂があるが、詳細は不明です。現在、宝積寺の飛び地境内となっています。地蔵は宝積に2体、南弘庵小堂の中に1体あります。



⑩多賀小学校大松跡



多賀小学校にそびえていた大松を市は昭和58年7月天然記念物に指定しました。地元も「依松の松保存会」を組織して保存に務めていましたが、昭和62年10月24日、降り続いた雨で自然倒木し、平成4年に記念碑が建てられました。

13 多賀地区史跡めぐりウォーキングマップ

